

令和 8 年度 第 2 回学校運営協議会（議事録）

日時：令和 8 年 10 月 1 日（木）13:30～16:00

会場：南伊豆分校 会議室

【参加者】委員（山梨・高橋・稲岡）

校長・事務長

本校（全）（副校長・教頭）・本校（定）（教頭）・分校（副校長・教頭）

次 第

I 開会

II 授業見学・施設見学 13:35～14:05

- ・1 年生「農業と環境：秋冬野菜圃場の準備」見学
- ・2 年生「野菜：野菜の育苗管理」「草花：カーネーションの管理」見学
- ・3 年生「地域資源活用：農芸祭用秋冬野菜の栽培」見学

III 議事 14:10～ 司会 山梨会長

1 会長挨拶

- ・授業見学を通して、生徒が自由な発想や工夫を大切にし、自分なりの学びを深めている様子を見ることができた。
- ・協議会においても、さまざまな学びや意見交換ができる会にしたい。

2 校長挨拶

- ・これからの社会を見据え、認知能力だけでなく、自己決定力、自走力、人間力などの非認知能力の育成を重視し、本校の「三つの力」を生かした教育を進めていく。
- ・全日制、定時制、分校それぞれの特色や小規模校の良さを生かし、ICT・AI や遠隔教育、探究的な学びなどを通して、多様な学びの機会を提供していく。
- ・地域とのつながりや郷土愛を大切に、賀茂地区の持続的な発展に貢献するとともに、場所を選ばず地域とつながり続ける「グローバル」な人材の育成を目指していく。

3 学校概況報告

(1)全日制

- ・年度当初の学校経営計画の進捗状況について説明を行った。理数科関係 6 件、文系特進クラス 2 件、部活動 1 件の取組について報告した。
- ・今年度新たに「おもてなし人材育成プロジェクト」に取り組んでいるほか、若手職員の学校運営への参画を目的とした「学校広報プロジェクトチーム」を新設し、学校 HP や学校案内のリニューアルを進めている。
- ・人権意識の向上や働き方改革、部活動の充実に向けた取組について説明した。

(2)定時制

- ・公式 X での記事をもとに、定時制での活動を説明した。
- ・生活体験発表会で 2 年生の生徒が優秀賞を受賞し、県大会に出場した。また、久しぶりに生徒会選挙が行われ、生徒会企画としてボウリング大会を実施するなど、生徒が主体的に活動している。

・生徒一人ひとりの状況に応じた丁寧な指導を行い、学校生活への適応や授業への取組、コミュニケーション能力の向上を支援している。1・2年生から複数回の面談を実施するなど、個に応じた進路指導にも取り組んでいる。

(3)南伊豆分校

・3年生の進路について、インターンシップ等を重ねながら、2学期末の進路決定に向けた取組を進めている。

・農業クラブでは、発表者全員が入賞するなど、授業や地域での学びの成果が表れている。また、卓球部が団体戦に出場した。

・「地域連携を通して生徒を育てる」ことを重点目標とし、こども園、小・中学校、大学、特別支援学校、地域の方々との継続的な交流・学習を行っている。大学生とのディベート等を通して、生徒が自分の考えを伝える力を身に付けている。

質疑応答

【全日制】

Q：おもてなし人材育成プロジェクトについて、今後の取組を教えてください。

A：2年生を対象に東京ディズニーランドで研修を行い、社会人としてのふるまいやおもてなしについて学ぶ。学んだことを学校祭で実践し、振り返りにつなげる予定である。

Q：野球応援について、1年生だけでも野球に触れる機会を設け、来年度以降に復活する可能性はあるか。

A：バス代の高騰や運営体制、熱中症、引率、移動時間、緊急時の連絡などの課題を踏まえ、行事としてはいったん終了することとした。

【定時制】

Q：生徒会企画とはどのようなものか。

A：生徒が企画や場所を決め、ボウリング大会や百人一首大会などを実施している。

Q：地域の催しでの農作物販売など、現在の地域とのつながりを今後も継承していけるか。

A：昼間定時制での学びの継承を含め、何らかの形で継続できるよう検討している。

【南伊豆分校】

Q：2年生対象のインターンシップについて、受入企業の選定方法を教えてください。

A：南伊豆町や下田市の企業等に協力を依頼し、30～40程度の受入先から生徒が希望する企業を選択している。

4 意見交換

- ・おもてなし人材育成プロジェクトについて、学んだことを日常生活で実践し、自ら考えて行動・発信できる生徒が増えることを期待したい。生徒自身が輝く学校になることを楽しみにしている。
- ・定時制では、学校祭や生徒会選挙など、生徒が主体的に活動する姿が印象的であった。今後の活動に期待したい。
- ・分校では、生徒が地域の様々な人と関わりながら生き生きと活動している様子が印象的であった。今後も地域とのつながりを大切にしたい。

- ・キャンパス制を進める中で、下田高校の理数科をはじめ、各校の特色をより広く発信してほしいとの意見があった。特に中学生や保護者に理数科の特色が十分伝わっていないことから、周知を進めることを期待したい。
- ・(学校) 各キャンパスの特色を生かし、理数科や普通科の進学対応、各校の専門分野、農業や地域連携など、多様な学びを提供していく。国の事業等も活用しながら、地域の協力を得て教育環境の充実を図っていく。
- ・(学校) 教員の負担軽減のために、今年度から現金徴収を廃止するなど、金銭管理に伴うトラブルや負担の軽減に取り組んでいる。
- ・(学校) 小規模校の良さを生かし、生徒一人ひとりの状況に応じて柔軟に対応しながら、生徒と一緒に考え、動いていきたい。
- ・(学校) 地域の方々からの声掛けや支援に感謝し、多くの方に支えられて分校が成り立っていることを生徒に伝えている。今後も地域とのつながりを大切にしていきたい。
- ・(学校) 生徒への対応が難しい場面もある中、外部機関とも連携しながら、学校経営計画の達成に向けて取り組んでいきたい。
- ・(学校) 資料をもとに、部活動や探究活動の様子を紹介した。
- ・探究活動で生徒と関わり、参加した3名がいずれも教員志望で進路希望も明確であり、良い交流となったとの感想があった。
- ・(学校) キャンパス制について、松崎・稲取との連携を進め、11月15日の説明会等を通して、賀茂地区で学び続ける意義を地域に発信していきたい。
- ・高校生の自習場所の提供など、地域の協力が進んでいる。地域企業にもキャンパス制への理解を広げてほしいとの意見があった。
- ・(学校) 令和10年度からのキャンパス制を、賀茂地区が一つの学校として地域や企業とつながる機会と捉え、関係機関との連携を深めながら、賀茂地区のこれからの教育をより充実させていきたい。
- ・キャンパス制について、「こうできたらよい」という前向きな意見が地域から出され、発展的に考えていける地域になることを期待したい。

5 協議

- ・賀茂地区県立高等学校キャンパス別基本構想の概要について報告した。

VI 事務局より

1 第3回の開催日について(案)

令和9年2月19日(金) 14:00～16:00 @下田高校本校

2 事務連絡

VII 閉会